



みんな伸びる



入学・進級おめでとうございます。 お子様の様子はいかがでしょうか？

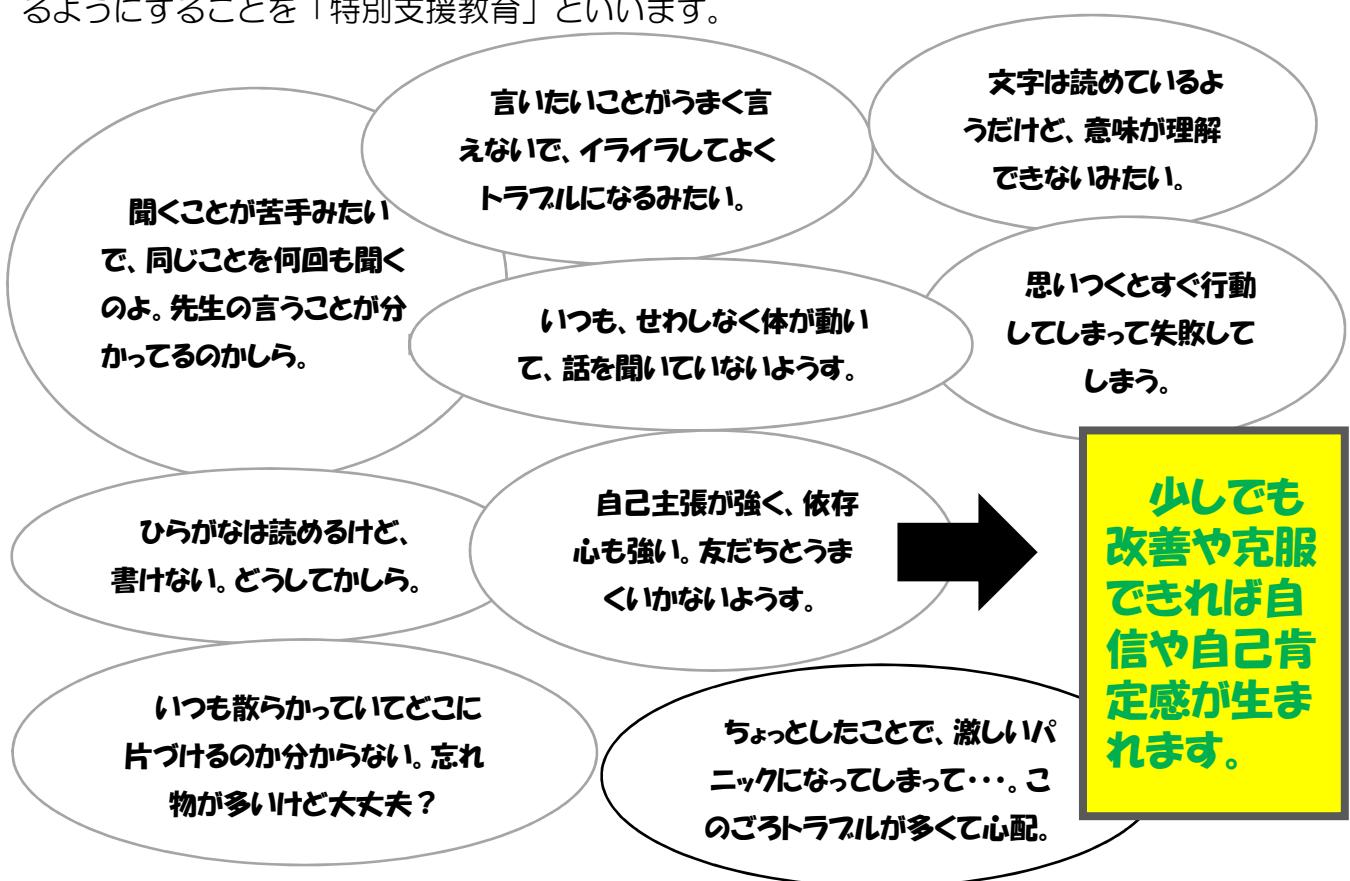
4月は、今までの環境が変わり、子供たちはいろいろな状況に直面しています。お子様は新しい環境に適応できているでしょうか？

学校には様々な子供たちがいます。スポーツが得意な子や苦手な子、学習が得意な子や苦手な子、友達との関係がうまく築けない子、家庭の状況で思い悩んでいる子、生活のリズムが整わず、朝学校に行くのが苦痛になっている子などです。学校では、職員がこれらの状況を注意深く受け止め、寄り添い励ましたり、時には叱ったりしながら成長を見守るなど指導を重ねているところです。

しかし、保護者や先生・友達など周囲からも分かりにくく、また子供自身もどうしていいかわからないため、支援や適切な指導が受けられないまま、さらに様々な問題が派生していくことがあります。

特別支援教育って？

そのようなとき、子供の特性に沿って、必要に応じて校内・校外の様々な機関や人々の力をかしてもらしながら特性に合った適切な支援を行い、将来を見据えて、よりよい成長ができるようにすることを「特別支援教育」といいます。



本校の特別支援体制について

特別支援体制には、**特別支援学級**と**通級学級**があります。本校には特別支援学級が4クラス（ひばり1・ひばり2・かもめ・つぐみ）通級学級1クラス（たんぽぽひろば）があります。

特別支援学級は、特性に沿って異学年が同じクラスになります。交流学級で、一部の教科は一緒に学習したり、給食や係活動なども一緒に行うなど生活したりします。学びの場の変更（措置変更）は1年に一度4月になります。

通級学級は、各教科などの授業は通常の学級で行いつつ、週に1～2時間取り出し、その子の特性に沿ってソーシャルスキルトレーニングや指導を行い学習や生活の困難の改善をめざす教室になります。学びの場の変更(入級)は、1年中可能です。おためしも隨時受け付けています。

**前年度から申し込んでいる子供たちについては、5月ごろから開級します。
時間割を調整した後、通級から連絡がありますので、しばらくお待ちください。**



特別支援教育を受けるには

相談や要望があれば、担任の先生との個人面談も活用できますが、「特別支援コーディネーター」にも相談できます。

小ヶ倉小の**特別支援教育コーディネーター**は、森猶隆（特別支援学級担任）・山下佳澄（特別支援学級担任）・古賀拓海（特別支援学級担任）・平 健太（特別支援学級担任）・森岡 忍（通級学級担任）の5人です。

お電話の際は「コーディネーターに相談したい。」とおっしゃってください。その後、時間を決めて来校していただければ相談することができます。

特別支援コーディネーターは、教育相談を行い、保護者の要望を受けて「校内支援委員会」の運営をします。その児童は特別支援が必要か、また適切な支援について関係のある校内の様々な先生と会議を開きます。

また、このほかに「外部機関との連絡・調整」「特別支援教育に関する保護者の相談窓口」の仕事もしています。



みんな生まれ持った特性をもっています。それは、しつけや育て方のせいではありません。

本人の怠けやわがままでもありません。必要なことは環境調整とスキルやパターンの獲得です。

失敗や叱られることが多くなるなど負のイベントが重なると
→学業不振・いじめ・行き過ぎた指導や過剰な期待に押しつぶされる・理想の自分と現実の乖離・自尊心の低下などに悩むようになります。思春期にその影響が大きくなることがあります。

これからも、不定期ですが、特別支援教育についてお伝えしたい
と思います。

どうぞよろしくお願いいいたします。

